

2019年度通常総会用資料

2019年5月26日（日）

辻堂砂山市民の家 集会室

特定非営利活動法人

藤沢ラグビー蹴球倶楽部

（議案）

- | | | |
|------|-------------|--------|
| 1号議案 | 2018年度事業報告 | （資料—1） |
| 2号議案 | 2018年度決算報告 | （資料—2） |
| 3号議案 | 2019年度事業計画案 | （資料—4） |
| 4号議案 | 2019年度活動予算案 | （資料—5） |
| 5号議案 | 倶楽部役員選任案 | （資料—6） |

（報告）

- | | | |
|----|------------|--------|
| 1. | 2018年度監査報告 | （資料—3） |
|----|------------|--------|

2018年度事業報告書

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

1. 事業の成果

(1) 総括

当倶楽部の活動は定款に則り特定非営利活動に係る事業を中心に行った。当倶楽部の2018年度事業活動について、以下の通り報告する。

当倶楽部の特定非営利活動に係る事業は、定款第5条第1項に規定されているように、1) ジュニアラグビースクールの運営、2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業、3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業、4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業、5) その他倶楽部目的を達成するために必要な事業となっている。また、神奈川県から「総合型地域スポーツクラブ」として承認を得、今後も、ラグビーフットボールを中心としながらもその他のスポーツ競技の振興・普及に係る事業にも取り組み、生涯スポーツおよび地域スポーツの発展に貢献していく。これらの事業全般につき、2018年度は会員や関係者の献身的な活動により、下記の通りの活動を行った。

1) ジュニアラグビースクールの運営

ラグビースクール（藤沢ラグビースクール）は、生徒数299名、登録指導員数72名にて運営し、神奈川県下でも有数の生徒数を抱えるラグビースクールである。毎週1回（小3以上は2回）の練習を定期的実施するとともに8月には富士緑の休暇村での合宿を行うなど、ラグビーを通じて青少年の指導・育成を行った。また、秋の県大会には小3～中学までのチームが参加し、県内のラグビーチームとの交流試合を行い、各学年とも所定の成果をあげた。

2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業

神奈川県ラグビーフットボール協会に所属するトップチーム（湘南プレイボーイズ）は、毎週1回定期的に練習を行った。東日本トップクラブリーグに参戦し、各都道県を代表するクラブチームとリーグ戦を行った。

タッチラグビーチーム（湘南グラスボーイズ&G）は毎週1回定期的な練習を行うとともに、地方大会や日本選手権に継続して参加するなど、活発な活動を行っている。毎年秋に開催される全日本タッチ選手権において、今年は残念ながらプレート準優勝となった。チーム強化を目的とした湘南大会は、今年は3度実施することが出来、毎回参加者が100名を超える大会で、着実に定着化が進んでいる。タッチラグビーについては、広い年齢層が一緒に楽しめるスポーツとして、地域スポーツの振興に寄与している。

シニアチームについては、定期的に練習するとともに、藤沢マスターズ大会等へ継続して参加している。

3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業

藤沢市ラグビーフットボール協会との協力のもと、藤沢ラグビーフェスティバルや藤沢市民大会への参加、中学生の高校ラグビーフェスティバルの参加等を行ったほか、未経験の子供を対象にしたラグビー教室を開催した。

また、2019年9月に日本で開催されるラグビーワールドカップの決勝戦開催地となる神奈川県スポーツ局の要請により、10月に藤沢市辻堂で行ったラグビーイベントに協力した。

タッチラグビーは、JTAコーチングレベルを取得したメンバーが、宮城県でタッチラグビーの普及を行い、また、神奈川県下の高校と一緒に練習するなど、タッチの振興・普及に努めた。

スポーツ吹矢（歩楽吹倶楽部）は定例の練習を行ったほか、スポーツ吹矢の体験会を5月に実施した。また、藤沢市と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターが実施している「ふじさわプラス・テン」プロジェクトへ参画した。

4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係わる事業

ラグビースクールにおいては、6月に中学生が高校ラグビー部フェスティバルへ参加したほか、2月には地元藤沢ライオンズクラブの協力を得て小学2年生以下が集まり第2回藤沢ライオンズクラブ湘南カップを開催し、他の競技スポーツ団体とともに交流とスポーツ能力向上を図った。

また、藤沢市辻堂地区社体協にも加盟し辻堂小学校体育館をお借りして「かけっこ教室」を計3回開催することが出来、地域社会とのコミュニケーションを図るとともに、総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型SC」という。）として活動の幅を広げた。

5) その他倶楽部目的を達成するために必要な事業

地域活動として、ラグビーフェスティバルの開催、辻堂砂山児童館祭への参加等を通じ、地域との交流を深めたほか、地域の清掃活動を実施している。また、11月には総合型SC関係者が抱える課題解決の糸口を探るための情報共有や、クラブ育成支援のためのネットワーク強化を図ることなどを目的とした、『関東ブロッククラブネットワークアクション 2018』に参加してクラブ運営に資する情報収集と他クラブとの有益な意見交換を行った。

そのほか、当倶楽部の運営に当たっては、以下の各部会を組織し、倶楽部事業の充実、倶楽部会員の利益拡大につながる諸施策を各委員会が中心となって推進しており、その成果が徐々に表れており、行政・民間からの支援が増えて来ている。

- ① 企画調整部会：各施策のとりまとめ、各部会推進事項の相互調整を行う。ラグビーフェスティバルのチラシに地域活動の広告紹介を行う試みを、同部会の調整により実施した。
- ② 財務部会：財政基盤強化の施策検討と推進、新会計ソフトの導入による倶楽部経理処理の事務平準化やインターネットバンキング活用による現金取り扱いリスクの低減など、資金・経理事務の改善を図っている。また、地元の吉澤会計事務所と委託契約を締結し、会計・税務面での指導をもらいながら法人としてのより適切な処理を進めていく。
- ③ 施設部会：クラブハウスの建替えの検討、辻堂海浜公園多目的グラウンドの人工芝化など施設の充実の検討及び推進を行う。また、公益的活動を認められ、藤沢市より借用しているクラブハウス用土地の賃借料減免が認められることとなった。
- ④ 広報部会：HPの運営、倶楽部会員増大を目的としたリクルート活動、倶楽部のPR活動、倶楽部会報誌の計画的発行を行う。
- ⑤ 地域活動部会：地域貢献ボランティア清掃など具体的活動の検討と推進を行う。
- ⑥ グラウンド等活動施設部会：日頃使用するグラウンドの確保と利用機会の拡大を図る。

これらの活動に加えて、より公益的な団体として責任ある活動を推進・発展させていくために、7月に「認定NPO」を取得したほか、2020年にラグビースクール創設50周年（倶楽部法人化20周年）を迎えることから、実行委員会を立ち上げ大きな節目となる記念事業の準備をスタートした。

そのほか、当倶楽部の活動への理解・協力という点で、地元藤沢に研究施設を持つNOK株式会社が

協賛企業となっている。かながわ信用金庫も昨年より法人賛助会員として支援・協力していただいているが、更に地元企業からのご支援をいただけるよう活動していく。

今後も引き続き、倶楽部会員内外の協力を求め、各部会のメンバーの充実を図り、事業の継続、発展に資するよう積極的な運営を行っていく。

(2) 活動概要

1) ジュニアラグビースクールの運営

ラグビースクールにおける指導方針については、2月に指導員総会を開催し、指導方針の指導実施項目として昨年に引き続き、①共通目標の理解・一元化 ②年間練習計画の立案 ③月次・日々の練習計画のコーチ間における認識の一元化 ④練習成果の把握・レビューの実施 ⑤ミルキー～ミニ～ジュニアのパスウェイの再確認という基本方針を通じて、チーム力をつける指導を引き続き推進した。そして「シンプル、反復、強弱、理解」のスローガンを引続き、継続して掲げ、指導に臨んだ。

指導体制は昨年に引き続き、スクール校長の下に、ジュニアクラス（中1、中2～3）、ミニクラス（小3～4、小5～6）、ミルキークラス（幼～小2）の各学年にヘッドと指導員とを配置し、学年間での指導交流や合同練習をより推進できる体制とした。また、ミルキークラスについては、協力していただける生徒の父母に「ミルキー応援団」になってもらい、ミルキーの活動をサポートする体制を継続することとした。

コーチ養成については、県協会主催のスタートコーチ研修会やレフリー講習会に積極的に参加し、各々資格取得にチャレンジしている。7月22日には安全講習会で熱中症対策や事故防止を中心に指導員研修会を開催し、多数の指導員が参加した。

ラグビースクールの活動については、4月8日の入校式以降、毎日曜日の午前中をラグビーの指導・練習日とし、小学3年生以上は土曜日も練習日とした。その他にも競技能力の向上に向け、5月3日～5日には中学生と小6の春合宿を実施するとともに、6月16日には静岡市のヤマハララグビースクールが来藤して交流試合を行った。6月3日は麻生ラグビースクールを招待してミルキー（小学3年生以下）恒例の地引網大会を行って他校との交流を図った。7月27日～29日には例年通り中学生が菅平ジャンボリーに参加して各県チームと試合を行った。また、8月12日～15日には恒例の夏合宿を、山梨県富士緑の休暇村で実施した。夏合宿には小学3年生以上の生徒、指導員、OB、父母が参加し、厳しい練習と、隣り合う学年同士の試合、中学AチームとOBを中心としたチームとの試合等を通じて、ラグーマンとしての大きな成長を遂げるとともに、各学年を超えた班編成による共同生活を体験することにより、上級生は指導力を、下級生は協調性を身につける大きな機会となった。

9月からは中学生の県大会が始まりAチームが15年ぶりに優勝することが出来た。10月からは小学校3年生以上が秋の県大会に臨んだ。小学生のうち、小学4年生の4チームが優勝を果たした。他の学年のチームもそれぞれに成長の跡を見せてくれた。中学生は12月に神戸ユニバーサル競技場で開催された全国ジュニア・ラグビーフットボール大会に神奈川県スクール選抜として男子選手2名、神奈川県選抜として女子1名が参加した。なお、今大会から正式競技となった女子ラグビーでは全国優勝を果たしている。

また、幼児～小2からなるミルキークラスも、県内各スクール主催の交流大会や県協会主催のミルキーフェスタに積極的に参加したほか、2月11日には「第2回湘南カップ」を開催し8スクールを招いて交流を図った。

2月16～17日には、昨年に引き続き神奈川県協会主催の第8回ミニラグビーファイナルカップが開催された。これはミニラグビーの集大成である小学校6年生チームを対象に、県内18チーム、県外

4 チームのラグビースクールの最強チームを決定するトーナメント大会で、3位の成績であった。

さらに、3月3日にはラグビースクール卒業式を行い、第43期生25名の中学3年生が巣立っていった。

なお、藤沢市体育協会主催の2月16日に行われた「第34回スポーツ人の集い」に於いて、藤沢ラグビースクール・ジュニアAチームの県大会優勝の成果を評価されて団体敢闘賞を受賞した。

2) ラグビークラブチームの育成・指導に係る事業

神奈川県ラグビーフットボール協会に所属するトップチームは、ラグビースクールOBを中心としたチームであるが、全国クラブラグビー大会へ出場し、クラブ選手権を制覇することを究極の目標としており、仕事や子育てに追われる一方で週末に練習を重ねている。従来はラグビースクールOBが主体であったが、リクルート活動の成果もあり、スクールOB以外のラグビー経験者やトップリーグ経験者の加入によって選手層に厚みが増し、かつチームプレーの徹底とコンビネーションの意識統一や個々の技術スキルの向上を図ってきた。また、様々なカテゴリーのチームが参加する県下、県外を問わず各セvens大会にも積極的に参加し、15人制と異なるランニングスキルの向上を図った。今年度の東日本トップクラブリーグにおいては、シーズン当初から怪我人が多く全敗となりリーグ最下位での負け越しとなった。

タッチラグビーチームは、広い範囲に活動を周知することを目的としたフェイスブックを活用し、藤沢市外からもメンバーが増加している。活動範囲は神奈川県の他チームとの交流、関東近県の交流大会を開催(湘南大会)するなど、活性化している。日本代表を目指すメンバーの活動も活発化し、選手5名と国際レフリー1名をワールドカップ日本代表に選抜することが出来た。日々の活動としては、毎週土曜日に定期練習があり、海外でタッチアカデミーを主催しているメンバーがチームに合流したことで、新しい練習方法を取り入れるなど、進化を続ける施策を実行している。各地のタッチ大会に積極的に参加し、本年度も優秀な成績を収めた。

シニアチームは、春の藤沢市民大会に参加した。35才以上の指導員とタッチメンバーで構成されているが、新加入の指導員も参加しメンバーが増加しつつある。

女子チーム(湘南スプリンガーズ)のチーム編成は出来なかったが、女子部会や女子委員会行事に積極的に参加した。4月には海老名市ラグビー協会主催の海老名市ガールズ・ラグビーフェスティバル(海老名市中野公園人工芝G等、女子小中学生対象)、11月には関東ラグビーフットボール協会主催のガールズフェスティバル(熊谷ラグビー場、女子小学生対象)等に参加することにより、各地の女子選手との交流を深めた。

3) ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興・普及に係る事業

本年度も藤沢市ラグビーフットボール協会、神奈川県ラグビーフットボール協会、関東ラグビーフットボール協会等の主催するラグビーの振興と普及を図る活動に、積極的に参加、協力を行った。

藤沢市ラグビーフットボール協会の主催する第37回藤沢市ラグビーフェスティバルが7月15日に秋葉台グラウンドで、9月9日には第38回藤沢市民大会が秋葉台グラウンドで開催され、当倶楽部からはラグビースクールの全学年が参加した。また、12月23日には大和運動公園にて神奈川県ラグビーフットボール協会主催の運動会が開催された。3月10日に開催したラグビーフェスティバルでは、茅ヶ崎ラグビースクールを招待するとともに未体験者を対象としたラグビー体験会を開催した。

トップチームは、シーズン序盤である1月から6月において、積極的に県外のチームと練習試合を行うなど、交流・振興を図った。

タッチラグビーチームは、主催する大会の頻度を増やし、積極的に実施した。また、定期的に行われる宮城県でのタッチ練習会に講師派遣など、タッチの振興・普及に努めた。

また、12月には神奈川県ラグビーフットボール協会より、当倶楽部から4名が永年にわたるラグビーの普及貢献に関わる功労賞が授与された。

スポーツ吹矢については、現在の会員は68～81歳で女性7人、男性6人の計13名が在籍している。練習は8月を除き毎月2～4回辻堂砂山市民の家で年間38回実施し、延べ431人が参加した。地域とのつながりと会員増を目的に5月27日にスポーツ吹矢体験会を実施したが参加者が5名と少なかったが、体験者1名が本会員となった。また、藤沢市と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターが運動と認知機能を週1回以上活動している60歳以上のグループを対象に進めている「ふじさわプラス・テン」（10分でも身体を長く動かそうをキーワードに多角的に身体運動促進の取り組み）に、歩楽吹倶楽部も2年間参加している。今年も認知症チェック及び体力測定（筋力、敏捷性、柔軟性、平行感覚）を初回、6ヶ月後、1年後の3回実施し、それぞれの健康チェックの間には活動計1週間の装着とプラス・テン体操の実施記録を提出し、一年後の成果を評価した。また、このプロジェクトに参加している市内10団体のグループとの交流会も実施された。

4) 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業

ラグビースクールにおいては、6月に中学生が高校ラグビー部フェスティバルへ参加したほか、2月には地元藤沢ライオンズクラブの協力を得て小学2年生以下が集まり第2回藤沢ライオンズクラブ湘南カップを開催し、他のラグビースクールとともに交流とスポーツ能力向上を図った。

また、藤沢市辻堂地区社体協にも加盟し辻堂小学校体育館をお借りして「かけっこ教室」3回の開催を行った。地域社会とのコミュニケーションを図るとともに、総合型地域スポーツクラブとして活動の幅を広げた。

さらに、8月には公益財団法人横浜市体育協会からの要請により、「アシスタントマネージャー資格養成講座」の市外総合型地域スポーツクラブの活動紹介として当クラブが参加し、同協会のスポーツ人材の養成・育成事業に協力した。さらに神奈川県スポーツ局が主催するラグビーワールドカップ2019™大会チケット開催都市住民先行抽選販売記念イベントに協力し、今年開催されるワールドカップの盛り上げに寄与した。このほか、毎年藤沢鵠沼海岸で行われる日本ライフセービング協会の全日本選手権への来賓参加も例年通り行い、他の競技団体との交流活動を行った。

以上のように、多くの活動を推進することにより、総合型地域スポーツクラブとしての存在意義を高めることができた。

5) その他スポーツを通じた地域活動

毎年恒例のラグビーフェスティバルを3月10日に開催した。本フェスティバルは、地域住民との交流やラグビーフットボールへの理解を深めることに効果があり、地域住民の参加者も多く、参加者の中から、ラグビースクールへの入校者も出て、ラグビーフットボールの振興普及に対して有効であるため、今後も継続して実施して行く。また、12月には地域交流の一環として辻堂砂山児童館祭に参加し、スクール生徒による幼児への工作指導や焼きそば出店等の活動を行い、辻堂地区住民との交流を深めた。

6) NPO法人としての社会貢献活動や安全対策強化

2000年にNPO法人化して以降、特定非営利活動法人格を持つラグビーチームとして、社会貢献活動への協力についても模索し、海岸清掃活動等を適宜実施した。

また、「乳がんの早期発見及び乳がん検診の啓発運動（ピンクリボン運動）」を推進しているNPO法人J. POSHの活動に協賛し、倶楽部としてピンクリボン運動のロゴマークをジャージに貼付する等、活動を継続している。

その他、安全対策の強化として、倶楽部としてAED（半自動除細動器）を購入し、心停止状態発生の緊急事態に備え、活動中常備することとした。

7) 広報活動の強化

倶楽部ホームページがリニューアルし約2年が経過したが、各部門からの情報発信に対して様々な方面からの反響が強く、特にスクールのリクルートツールとして入校関連の問い合わせが多く寄せられている。今後とも「スポンサー企業様への活動報告ツール」、「在籍する正会員やOB・OGへの情報発信ならびに活動報告ツール」としての側面もあわせ、活動を内外にアピールしていく。

昨年度も、神奈川県ラグビーフットボール協会・各自治体関係をはじめとするラグビー各イベントや広報紙へ倶楽部の広告を掲載し、活動をアピールしている。

また、ラグビースクールは、ホームページおよびSNS（フェイスブック）により活動報告を行ってきたが、ラグビーフェスティバルチラシに昨年同様協賛企業名を掲載し広くアピールして、フェスティバル参加者を募り、活動を盛り上げた。

トップチームでは、ホームページのほかSNS（フェイスブック）を活用し、チーム広報やリクルート活動を行い成果が出ている。

タッチラグビーチームもフェイスブックをホームページとして活用し、チーム広報やリクルート活動に生かすとともに、他チームとの交流も図っている。

スポーツ吹矢も、藤沢市と慶應義塾大学スポーツ医学研究センターが実施している「ふじさわプラス・テン」プロジェクトへ参画し、活動の領域を広げている。

8) その他倶楽部の目的を達成するための事業

2020年に迎える藤沢ラグビースクール創設50周年・特定非営利活動法人藤沢ラグビー蹴球倶楽部創立20周年の記念事業への寄付金募集活動をはじめ準備のための活動をおこなった。

(3) 本年度会員数、各事業登録者数

以上の活動を支える当倶楽部の会員数は、2019年3月末時点で下記となっている。

正会員	136名
個人賛助会員	43名
法人賛助会員	3社

また、各事業活動の登録者数は下記の通りである。

ラグビースクール：	生徒数	299名
	指導員数	72名
トップチーム	：	22名
タッチチーム	：	24名
シニアチーム	：	40名
スポーツ吹矢	：	13名

以上

2. 事業内容

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	事業計画	実施日時	実施場所	従事実人数	受益対象者範囲と人数	支出額(千円)	活動実績と結果
1. ジュニアラグビースクールの運営(定款第5条第1項第1号に係る事業)	1. 地域における4歳から18歳までの少年、少女を対象としたラグビーの技術的・精神的指導 2. 春合宿練習 3. 静岡市ヤマハララグビースクールとの交流 4. 中学菅平ｼﾞﾝﾎﾞﾘｰ 5. 夏合宿練習 6. 湘南カップなど他スクールとの交流大会参加 7. 中学3年生卒業式 8. コーチ、レフェリー、メディカルサポーター等指導監督者の育成プログラムへの参加など 9. C級レフェリー資格試験	毎日曜日 小3以上は土曜日も実施 5月 6月 7月 8月 4～3月 3月 随時 3月	辻堂海浜公園 秋葉台球技場ほか 山中湖 藤沢市 菅平高原 山梨県 富士緑の休暇村 神奈川県内 藤沢市 神奈川県内 3月	72名 20名 20名 15名 60名 72名 72名 72名 6名	4歳～15歳 約300名 小6～中3 約85名 小4、小5、小6 約80名 中学生 70名 小3～中3 約200名 幼児～中3 約300名 中3 25名 72名	登録 368 用具1,433 ｼﾞﾝﾎﾞﾘｰ 271 保険 409 1,661 1,886 7,182 588 61	1. 計画通り実施し、初期目的を達成した 2018.4～2019.3(除く8月) 計46回開校 2. 菅平ｼﾞﾝﾎﾞﾘｰに参加 3. 計画通り実施し、初期の目的を達成した
2. ラグビークラブチームの育成指導に係る事業(定款第5条第1項第2号に係る事業)	1. トップチームの育成指導 セブンス大会 東日本クラブ選手権 神奈川予選 2. タッチラグビーチームの育成指導 3. シニアチームの育成指導 交流試合 4. 女子チームの育成指導 第12回ガールズフェスティバルほか	毎日曜日 4月～8月 4月～7月 毎土曜日 隔週日曜日 9月～2月 11月	秋葉台球技場ほか 東京都ほか 保土ヶ谷公園ほか 辻堂海浜公園 辻堂海浜公園 善行グラウンドほか 埼玉県	45名 30名 45名 24名 40名 4名	成人男子45名 30名 45名 45名 40名 20名	1,349 322 51	トップチームは新規メンバーの強化を図り、東日本トップクラブリーグ、各大会参加 一般市民の参加があり、コンタクトが起きないタッチを競技スポーツとして活動している。コンペティション、エンジョイのどちらのレベルでも参加できる楽しい時間を作っている。 3. 年間を通じ試合実施 4. 関東連盟主催の講習会やガールズフェスティバルに参加
3. ラグビーフットボールおよびその他のスポーツ競技の振興普及に係る事業(定款第5条第1項第3号に係る事業)	1. 藤沢ラグビーフェスティバルへの参加 2. 藤沢市民大会 3. ラグビーフェスティバル 4. ラグビースクール交歓運動会 5. ラグビー教室の開催 6. タッチチーム 第15回湘南大会(ﾏｼﾞｯｸ) 交流大会 第15回湘南大会(ﾏｼﾞｯｸ) 神奈川大会 第15回湘南大会(ｺﾝﾊﾞ) タッチ全日本選手権 交流大会 7. スポーツ吹矢 8. 倶楽部広報紙の発行 9. H P の運営 10. 中学3年生卒業文集作成	7月 9月 3月 12月 4月 7月 8月 8月 9月 10月 11月 1月 4月～3月 3月 3月	秋葉台球技場 秋葉台球技場 辻堂海浜公園 大和スポーツセンター 藤沢市 辻堂海浜公園 秋葉台球技場 引地川親水公園 引地川親水公園 引地川親水公園 葛西臨海球技場 辻堂海浜公園 砂山市民の家 倶楽部事務所 倶楽部事務所 倶楽部事務所	72名 72名 72名 72名 72名 40名 15名 25名 11名 15名 11名 18名 13名 4名 1名 4名	約300名 約300名 約700名 約300名 約320名 約100名 約50名 約130名 約100名 約120名 約300名 約60名 13名 会員、生徒 会員、一般 会員、生徒	103 60 160 80 169	1. ラグビースクール生徒が参加 2. ラグビースクール生徒、湘南PBが参加 3. ラグビーフェスティバルを開催し、スクール以外の子供達も含め地域との交流を図った 4. 県下全ラグビースクールが参加 5. ラグビーフェスティバルで子供向けラグビー教室を開催 6. 楽しく、強くなるチームづくり 例年に増し、様々な国籍が多数参加 FWT(東京)湘南PW(藤沢北部チーム)と交流 富士SUNZ、BOOS、SUNRAYS、高浜中、城南、が参戦 エンジョイクラス優勝 日体、ｸﾞｽﾀｰﾙ、FWT、富士SUNS、SUNRAYSとの主催大会 16 ジャパンタッチ協会主催：プレート準優勝 城南J、狛江タッチを招いての交流戦 80 7. 月4回の活動と競技大会を開催 169 9. 練習予定日等をアップ 10. 中学3年生および父母、指導員で卒業文集を作成
4. 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業(定款第5条第1項第4号に係る事業)	1. 高校ラグビー部フェスティバルへの参加 東海大相模高校 桐蔭学園高校 2. ミルキークラス地引綱 3. 湘南カップ(ミルキークラスの交流大会) 4. かけっこ教室の開催 5. 全国ライフセービング協会記念式典への参加 6. 辻堂砂山児童館祭への参加 7. 地域清掃活動 8. 宮城県タッチ協会支援 9. ピンクリボン運動への参加	6月 6月 2月 11月～2月 10月 12月 4月～3月 3月 通年	各高校グラウンド 藤沢市 神奈川県内 藤沢市 藤沢市 藤沢市 藤沢市 フットメッセ長町 神奈川県	15名 60名 20名 8名 1名 10名 60名 1名 11名	中学生約70名 幼児～小2 約150名 幼児～小2 約300名 小1～小2 約120名 1名 20名 約150名 約500名	100 160 45	1. 各高校ラグビー部のフェスティバルに招待され、参加した 2. 近隣のラグビースクールを招いて、海岸での合同練習、地引綱大会を開催 3. 地元ライオンズクラブ協賛によるミルキークラス県内8スクール参加の大会 4. 走り方の研究・実績を持つ団体の協力を得て、ゴールデンエイジ前の子供にも対して正しい走り方を覚えてもらう機会を3回設けた。地域の小学校体育館を借りて行った。 5. 全国ライフセービング協会の全日本大会に理事1名が出席した 6. 幼児への工作指導と焼きそば店により、地域との交流を図った 7. 辻堂海浜公園周辺等の地域清掃活動を実施 8. タッチ普及の一環でタッチ教室を開催の講師 9. ラグビージャージにピンクリボン運動のロゴマークを貼付
5. その他倶楽部の目的を達成するために必要な事業(定款第5条第1項第5号に係る事業)	1. 寄付金募集をはじめとする藤沢ラグビースクール創設50周年・特定非営利活動法人藤沢ラグビー蹴球倶楽部創立20周年記念事業	通年	首都圏	15名	一般、会員、OB	133	1. 寄付金の募集

決 算 報 告 書

2018年4月1日～2019年3月31日

1. 活動計算書
2. 貸借対照表
3. 財産目録
4. 財務諸表の注記

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部

活 動 計 算 書

(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部
(単位：円)

科 目	特定非営利活 動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費・入会金			
正会員受取年会費	1,815,000	-	1,815,000
賛助会員(個人)受取会費	156,000	-	156,000
賛助会員(団体)受取会費	40,000	-	40,000
受取入会金	26,000	-	26,000
2 事業収益			
ラグビースクール生徒年会費収入	3,892,000	-	3,892,000
スクール春合宿参加費等収入	1,662,200	-	1,662,200
スクール夏合宿参加費等収入	6,643,800	-	6,643,800
菅平ジャンボリー参加費等収入	1,569,000	-	1,569,000
卒業式参加費等収入	516,000	-	516,000
地域活動事業収益	31,800	-	31,800
スポーツ吹き矢会費等収入	63,000	-	63,000
遠征個人負担金	397,000	-	397,000
受取協賛金	1,095,000	-	1,095,000
3 受取寄付金			
受取寄付金(50周年)	420,000	-	420,000
受取寄付金	55,758	-	55,758
ラグビーグッズ受贈益	151,686	-	151,686
4 その他収益			
受取利息	599	-	599
貯蔵品処分益	19,222	-	19,222
雑収益	39,316	-	39,316
経常収益計	18,593,381	-	18,593,381
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	-	0
(2) その他の経費			
用具費	1,560,709	-	1,560,709
グラウンド等使用料	352,100	-	352,100
スポーツ保険料	533,776	-	533,776
対外試合費用	372,907	-	372,907
チーム育成費	487,769	-	487,769
コーチ育成費	61,512	-	61,512
業務委託費	162,000	-	162,000
謝金	11,138	-	11,138
印刷製本費	287,727	-	287,727
会議費	600,012	-	600,012
交際費	74,616	-	74,616
旅費交通費	10,718,759	-	10,718,759
遠征等補助金	195,000	-	195,000
通信運搬費	155,840	-	155,840
消耗品費	690,303	-	690,303
諸会費	20,000	-	20,000
支払手数料	7,890	-	7,890
地域活動費	249,575	-	249,575
卒業式諸費	588,709	-	588,709
広報活動費	339,349	-	339,349
分担金	28,000	-	28,000
慶弔費	30,000	-	30,000
雑費	29,684	-	29,684
その他経費計	17,557,375	-	17,557,375
事業費計	17,557,375	-	17,557,375

2 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0	-	0
(2)その他の経費			
印刷製本費	72,410	-	72,410
水道光熱費	10,735	-	10,735
借地料	485,568	-	485,568
旅費交通費	7,900	-	7,900
通信運搬費	46,653	-	46,653
消耗品費	277,001	-	277,001
支払手数料	107,736	-	107,736
諸会費	13,000	-	13,000
会議費	133,884	-	133,884
慶弔・交際費	33,360	-	33,360
租税公課	2,000	-	2,000
研修費	6,000	-	6,000
支払報酬	151,200	-	151,200
支払寄付金	100,000	-	100,000
雑費	1,080	-	1,080
管理費計	1,448,527	-	1,448,527
経常費用計	19,005,902	-	19,005,902
当期経常増減(△)額	△ 412,521	-	△ 412,521
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
2 過年度損益修正益			
経常外収益計	0	-	0
IV 経常外費用			
1 固定資産除却損			
2 過年度損益修正損			
3 倶楽部ハウス所有権解決金	1,000,000	-	1,000,000
経常外費用計	1,000,000	-	1,000,000
経理区分振替額			
税引前当期正味財産増減(△)額	△ 1,412,521	-	△ 1,412,521
法人税、住民税及び事業税	70,000	-	70,000
当期正味財産増減(△)額	△ 1,482,521	-	△ 1,482,521
前期繰越正味財産額	14,049,228	-	14,049,228
次期繰越正味財産額	12,566,707		12,566,707

今年度は、その他の事業を実施していません。

貸 借 対 照 表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人

藤沢ラグビー蹴球倶楽部

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資 産 の 部 1 流 動 資 産 現 金 預 金 貯 蔵 品 前 払 費 用 流 動 資 産 合 計 2 固 定 資 産 (1)有形固定資産 什 器 備 品 (2)投資その他の資産 倶楽部ハウス修繕費引当預金 50周年記念事業費引当預金 投資その他の資産計 固 定 資 産 合 計 資 産 合 計	8,184,248	581,363	59,356
		8,824,967	
	3		
	3,900,000		
	700,000		
	4,600,000		
		4,600,003	
			13,424,970
II 負 債 の 部 1 流 動 負 債 未 払 金 未 払 法 人 税 等 前 受 金 流 動 負 債 合 計 2 固 定 負 債 固 定 負 債 合 計 負 債 合 計	773,263	70,000	15,000
		858,263	
		0	
			858,263
III 正 味 財 産 の 部 前期繰越正味財産 当期正味財産増減(△)額 正味財産合計 負債及び正味財産合計		14,049,228	
		△ 1,412,521	
			12,566,707
			13,424,970

財 産 目 録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人

藤沢ラグビー蹴球倶楽部

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資 産 の 部			
1 流動資産			
現金	13,941		
普通預金 かながわ信用金庫藤沢営業部 (一般会計)	4,932,446		
普通預金 かながわ信用金庫藤沢営業部 (RS#48)	15,001		
普通預金 かながわ信用金庫藤沢営業部 (50周年記念事業)	2,370,000		
振替貯金 辻堂西郵便局	286,836		
定期預金 かながわ信用金庫藤沢営業部	566,024		
貯蔵品 (頒布用ラグビーグッズ・エンブレム等)	581,363		
前払費用 (会計ソフト利用料)	59,356		
流動資産合計		8,824,967	
2 固定資産			
特定支出引当預金(倶楽部ハウス修繕費)かながわ信金藤沢営業部	1,780,173		
特定支出引当預金(倶楽部ハウス修繕費)横浜銀行藤沢中央支店	2,119,827		
特定支出引当預金(50周年記念事業)横浜銀行藤沢中央支店	700,000		
什器備品 (倉庫棚)	1		
什器備品 (救急用AED1台)	1		
什器備品 (放送設備)	1		
固定資産合計		4,600,003	
資産合計			13,424,970
II 負 債 の 部			
1 流動負債			
未払金(WSカンパニー・50周年Tシャツ制作代)	583,200		
未払金 (正会員立替経費3名分)	190,063		
未払法人税等	70,000		
前受金(正会員会費1名分)	15,000		
負債合計		858,263	858,263
正味財産			12,566,707

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法…法人税法の規定に基づいて償却をしています。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品…個別法による原価法を用いています。
- (3) 消費税等の会計処理…消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

	ラグビースクール事業	トップチーム事業	タッチチーム事業	スポーツ吹矢事業	50周年記念事業	管理部門	合計
(1)人件費							
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他の経費							
用具費	1,433,607	60,309	46,353	20,440			1,560,709
グラウンド等使用料	271,000	17,740	42,160	21,200			352,100
スポーツ保険料	409,000	81,676	43,100				533,776
対外試合費用	76,000	212,500	84,407				372,907
チーム育成費	368,750	109,019	10,000				487,769
コーチ育成費	61,512						61,512
業務委託費	162,000						162,000
謝金	11,138						11,138
印刷製本費	189,917		1,950		2,840	93,020	287,727
会議費	550,389	6,000	600	37,333	690	5,000	600,012
交際費	26,630	2,592			24,529	20,865	74,616
旅費交通費	9,818,673	803,406		2,000	94,680		10,718,759
遠征等補助金	90,000		105,000				195,000
通信運搬費	100,471		2,700		9,560	43,109	155,840
消耗品費	652,691		325		1,620	35,667	690,303
諸会費	15,000	5,000					20,000
支払手数料	4,590	1,302	1,782			216	7,890
地域活動費	249,575						249,575
卒業式諸費	588,709						588,709
広報活動費	17,118	50,000				272,231	339,349
分担金	28,000						28,000
慶弔費	30,000						30,000
雑費	29,684						29,684
その他経費計	15,184,454	1,349,544	338,377	80,973	133,919	470,108	17,557,375
合計	15,184,454	1,349,544	338,377	80,973	133,919	470,108	17,557,375

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下のとおりです。

当法人の正味財産は12,566,707円ですが、そのうち2,370,000円は下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は10,196,707円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
藤沢ラグビースクール創設50周年・特定非営利活動法人藤沢ラグビー蹴球倶楽部創立20周年記念事業特別募金	1,950,000	420,000	0	2,370,000	2020年の50周年事業費用に充当する予定です。

4. 固定資産の増減内訳

(単位 円)

科目	期首残高	取得	減少	期末残高
有形固定資産				
什器備品 倉庫棚	1	0	0	1
A E D	1	0	0	1
ポータブル放送設備	1	0	0	1
合計	3	0	0	3

5. 倶楽部ハウス所有権解決金について

現在のクラブハウス建設時の費用の一部について未払い金があることが判明し、当時の資料などを基に債権者と話し合いを持ち1,000,000円を支払うことで合意しました。

報告 1

平成 3 1 年 4 月 2 1 日

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部
理事長 和田 雅実 殿

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部

監 事 平井 勝 ⑩

監 事 依田 秀雄 ⑩

特定非営利活動法人藤沢ラグビー蹴球倶楽部（以下「倶楽部」という。）第 1 9 期（平成 3 0 年 4 月 1 日～平成 3 1 年 3 月 3 1 日）の業務並びに会計の監査を行った結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- ①業務監査について、理事会等に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類などの閲覧により業務執行の定款にある事業目的に照らした健全性を監査しました。
- ②会計監査について、関係書類の閲覧等により決算報告書の正確性を監査しました。

2. 監査結果

- ①事業内容は適正であり、理事の職務執行に関して不正行為や規程に違反する重大な事実はないことを認めます。ただし、後記 3 に記載する事項を改善することを勧告いたします。
- ②活動計算書、財産目録、貸借対照表は、倶楽部の収支および財産の状況を正しく示しているものと認めます。

3. 改善すべき事項

（1）理事の職務遂行に関して

- ①理事の理事会への出席率は全体として前年度に比較して向上しているが、一部理事が倶楽部事業部門の活動を優先して理事会への出席率が低くなっていることや、中途退席や遅刻なども見受けられる。

理事会は倶楽部において総会に次ぐ重要な議決機関である。理事は倶楽部運営に関する事項を最優先し、やむを得ない事由（正業、慶弔、病気等）を除き、理事会に出席されたい。

- ②理事会運営および審議については、定款等の規程に基づくことが原則である。
緊急事態等規程に定めのない事項に対しては、その内容を理事全員が理解・共有し正会員の平等と公平性を確保することを考慮するとともに限定的な取り扱いとすることなどを明確にするなども含めて、審議・議決することとされたい。
- ③会費の徴収や予算の執行など倶楽部の収支状況および財務状況について、毎回の理事会において厳格に掌握することとされたい。会費減免の取り扱いや支出金額の妥当性については、その合理的理由等も含め慎重に審議して議決されたい。
それらの議決内容は記録に残し、周知することで理事全員が倶楽部運営本来の在り方を再認識すべきである。
- ④理事会承認・決議事項は、その遂行状況を理事会においてフォローし、全理事が進捗状況を常に掌握されたい。

(2) 倶楽部の運営・管理に関して

- ①正会員の入退会手続きは確実に書面をもって行い、正会員の状況と会費の徴収について厳密に把握することとされたい。
- ②総合型地域スポーツクラブおよび認定NPO法人としての運営をより強化するため下記事項に取り組まれたい。
 - ・中長期的な運営計画を立案推進し、倶楽部の方向性の明確化
 - ・会員種別の多様化も含め、会員資格と会費の体系を見直し財務体質の強化
- ③倶楽部運営について、下記事項に取り組まれたい。
 - ・職務による責任権限の明確化と組織による仕事の推進
(専従役員、専従事務員の配置など)
 - ・財務状況に応じた組織運営の推進

以 上

2019年度事業計画書(案)

特定非営利活動法人 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

1. 事業活動方針

総合型地域スポーツクラブとして、多くの人にラグビーフットボール等のスポーツに親しむ機会を提供し地域スポーツの振興と普及に寄与するとともに、地域社会貢献活動を積極的に推進する。また、クラブ会員の各活動をサポートするために、施設面の充実、資金面の強化策を具体的に推進する。

2. 事業内容

事業名	事業計画	実施日時	実施場所	従事 実人数	受益対象者 範囲と人数	事業概要及び支出費用
1. ジュニアラグビースクールの運営(定款第5条第1項第1号に係る事業)	1. 地域における4歳から18歳までの少年、少女を対象としたラグビーの技術的・精神的指導 2. 春合宿 3. 静岡県ヤマハラグビースクールとの交流(遠征) 4. 中学菅平ジャンボリー 5. 夏合宿練習 6. 湘南カップなど他スクールとの交流大会参加 7. 中学3年生卒業式 8. コーチ、レフェリー、メディカルサポーター等指導監督者の育成プログラムへの参加 9. C級レフェリー資格試験	毎日曜日 小5以上は土曜日も実施 5月 6月 7月 8月 4~3月 3月 随時 3月	辻堂海浜公園 秋葉台球技場 ほか 山梨県 山中湖 磐田市 菅平高原 山梨県 富士緑の休暇村 神奈川県内 藤沢市 神奈川県内	約76名 約20名 約15名 約60名 約76名 約76名 約5名	4歳~15歳 約300名 小6~中3 小5、小6 約70名 中学生約70名 小3~中3 約200名 幼児~中3 約300名 中3 30名 約76名	14,128,000円 入校式、卒業式費用、登録費、用具費、グラウンド使用料、スポーツ保険、菅平ジャンボリー・春夏合宿費用等
2. ラグビークラブチームの育成指導に係る事業(定款第5条第1項第2号に係る事業)	1. トップチームの育成指導 セブンス大会 オープン戦 団体関東ブロック 東日本トップクラブリーグ 2. タッチラグビーチームの育成指導 千葉大会 東京大会 全日本大会 第16回湘南大会 第16回湘南大会(エンジョイ) 第16回湘南大会(コンベ) 神奈川大会 全日本大会 第16回湘南大会(ミックス) 3. シニアチームの育成指導 交流試合 4. 女子チームの育成指導 ガールズフェスティバル	毎日曜日 4月~3月 4月~7月 8月 秋 毎土曜日 5月 5月 7月 7月 8月 9月 秋 11月 1月 隔週日曜日 9月~2月 11月	秋葉台球技場 ほか 近県 神奈川県内 近県 17都道県 辻堂海浜公園 千葉県 東京都 近県 辻堂海浜公園 親水公園 親水公園 親水公園 近県 親水公園 秋葉台球技場 善行グラウンド ほか 埼玉県	約45名 約45名 約45名 数名 約45名 約40名 14名 14名 14名 40名 14名 14名 14名 14名 約25名 数名	約45名 約45名 数名 約45名 約40名 約200名 約200名 約300名 約100名 約100名 約100名 約150名 約300名 約100名 約25名 数名	1,115,000円 1. 登録費、用具費、スポーツ保険、大会参加費等 2. 登録費、用具費、スポーツ保険、大会参加費等 3. 藤沢マスターズ等に参加、他ラグビースクールのシニアチームとの合同合宿実施 4. 関東連盟主催の講習会やガールズフェスティバルに参加
3. ラグビーフットボールおよびその他スポーツ競技の振興普及に係る事業(定款第5条第1項第3号に係る事業)	1. 藤沢市ラグビーフェスティバルへの参加 2. 藤沢市民大会 3. ラグビーフェスティバルの開催 4. ラグビースクール交歓運動会 5. はじめてのラグビー 一斉体験会 6. タッチチーム 7. スポーツ吹矢 8. 倶楽部広報紙の発行(広報・普及活動) 9. HPの運営(広報・普及活動) 10. 中学3年生卒業文集作成(広報・普及活動)	7月 9月 3月 12月 4月 3月 4月~3月 7月、1月 3月	秋葉台球技場 秋葉台球技場 辻堂海浜公園 横浜スタジアム 辻堂海浜公園 フットメッセ長町 砂山市民の家 倶楽部事務所 倶楽部事務所 倶楽部事務所	約76名 約76名 約76名 約76名 約76名 1名 約15名 数名 1名 数名	約300名 約300名 約600名 約300名 約300名 約150名 約15名 会員、生徒、OB 会員、一般 会員、生徒	510,000円 1. ラグビースクール生徒が参加 2. ラグビースクール生徒、湘南PBが参加 3. ラグビーフェスティバルを開催し、スクール以外の子供達も含め地域との交流を図る 4. 県下全ラグビースクールが参加 5. 県下ラグビースクールによる子供向けラグビー体験会を開催 6. タッチ普及の一環でタッチ教室を開催の講師 7. 月4回開催 8. 広報紙を2回発行(管理費) 9. 練習予定日等をアップ(管理費) 10. 中学3年生および父母、指導員で卒業文集を作成
4. 他の競技団体との協力・交流による競技者の能力向上及び育成に係る事業(定款第5条第1項第4号に係る事業)	1. 高校ラグビー部フェスティバルへの参加 東海大相模高校 法政第二高校 桐蔭学園高校 2. ミルキークラス地引綱 3. 湘南カップ(ミルキークラスの交流大会) 4. かけっこ教室の開催 5. クラブハウス草刈 6. 辻堂砂山の家児童祭りへの参加 7. 地域清掃活動 8. 宮城県タッチ協会支援 9. ピンクリボン運動への参加	6月 6月 2月 5月~12月 8月 12月 4月~3月 3月	各高校グラウンド 藤沢市 神奈川県内 藤沢市 藤沢市 藤沢市 藤沢市 フットメッセ長町	約15名 約60名 20名 160名 約60名 約10名 約60名 約1名	中学生約70名 幼児~小2 約150名 幼児~小2 約300名 小1~小2 約60名 約20名 約60名 約150名	320,000円 1. 各高校ラグビー部のフェスティバルに参加 2. 近隣のラグビースクールを招いて、海岸での合同練習、地引綱大会を開催 3. 地元ライオンズクラブ協賛によるミルキークラス県内8スクール参加の大会 4. 走り方の研究・実績を持つ団体の協力を得て、ゴールデンエイジ前の子どもに対して正しい走り方を覚えてもらう機会を設定。地域の小学校施設等を借りて行なう。 5. スクール指導員、タッチメンバーで草刈実施 6. 幼児への工作指導と焼きそば出店により、地域との交流を図る。 7. 辻堂海浜公園周辺等の地域清掃活動を実施 8. タッチ普及の一環でタッチ教室を開催の講師 9. ラグビージャージにピンクリボン運動のロゴマークを貼付
5. その他倶楽部の目的を達成するための事業(定款第5条第1項第5号及び同条第2項に係る事業)	1. 50周年記念事業準備 2. 物品販売業 2. 請負業(広告)	通年 通年 通年	首都圏 藤沢市 神奈川県内	15名 約300名 数名	会員、OB 会員、生徒、OB、一般 会員、一般	140,000円 1. 50周年記念事業準備 2. 倶楽部グッズの製作、飲料自動販売機の設置 3. 広告協賛契約等により、協力企業の支援をPRする費用

2019年度活動予算書(案)

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

特定非営利活動法人
藤沢ラグビー蹴球倶楽部
(単位:円)

科 目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費・入会金			
正会員受取年会費	1,815,000	-	1,815,000
賛助会員(個人)受取会費	156,000	-	156,000
賛助会員(団体)受取会費	40,000	-	40,000
受取入会金	26,000	-	26,000
2 事業収益			
ラグビースクール生徒年会費収入	3,900,000	-	3,900,000
スクール春合宿参加費等収入	1,700,000	-	1,700,000
スクール夏合宿参加費等収入	7,200,000	-	7,200,000
菅平ジャンボリー参加費等収入	1,900,000	-	1,900,000
卒業式参加費等収入	550,000	-	550,000
地域活動事業収益	30,000	-	30,000
スポーツ吹き矢会費等収入	60,000	-	60,000
遠征個人負担金		-	0
受取協賛金	18,000	-	18,000
3 受取寄付金			
受取寄付金(50周年)	400,000	-	400,000
受取寄付金	50,000	-	50,000
ラグビーグッズ受贈益	150,000	-	150,000
4 その他収益			
受取利息	0	-	0
貯蔵品処分益	0	-	0
雑収益	0	-	0
経常収益計	17,995,000	-	17,995,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	-	0
(2) その他の経費			
用具費	1,000,000	-	1,000,000
グラウンド等使用料	550,000	-	550,000
スポーツ保険料	540,000	-	540,000
対外試合費用	375,000	-	375,000
チーム育成費	490,000	-	490,000
コーチ育成費	60,000	-	60,000
業務委託費	165,000	-	165,000
謝金	10,000	-	10,000
印刷製本費	296,000	-	296,000
会議費	340,000	-	340,000
交際費	75,000	-	75,000
旅費交通費	10,250,000	-	10,250,000
遠征等補助金	270,000	-	270,000
通信運搬費	155,000	-	155,000
消耗品費	400,000	-	400,000
諸会費	25,000	-	25,000
支払手数料	12,000	-	12,000
地域活動費	250,000	-	250,000
卒業式諸費	600,000	-	600,000
広報活動費	300,000	-	300,000
分担金	0	-	0
慶弔費	20,000	-	20,000
雑費	30,000	-	30,000
その他経費計	16,213,000	-	16,213,000
事業費計	16,213,000	-	16,213,000

2 管理費			
(1)人件費			
人件費計	0	-	0
(2)その他の経費			
印刷製本費	80,000	-	80,000
水道光熱費	15,000	-	15,000
借地料	220,000	-	220,000
旅費交通費	10,000	-	10,000
通信運搬費	50,000	-	50,000
消耗品費	160,000	-	160,000
支払手数料	120,000	-	120,000
諸会費	15,000	-	15,000
会議費	150,000	-	150,000
慶弔・交際費	30,000	-	30,000
租税公課	2,000	-	2,000
研修費	10,000	-	10,000
支払報酬	160,000	-	160,000
支払寄付金	0	-	0
雑費	10,000	-	10,000
管理費計	1,032,000	-	1,032,000
経常費用計	17,245,000	-	17,245,000
当期経常増減額	750,000	-	750,000
III 経常外収益			
1 固定資産売却益			
2 過年度損益修正益			
経常外収益計	0	-	0
IV 経常外費用			
1 固定資産除却損			
2 過年度損益修正損			
経常外費用計	0	-	0
経理区分振替額			
税引前当期正味財産増減額	750,000	-	750,000
法人税、住民税及び事業税	70,000	-	70,000
当期正味財産増減額	680,000	-	680,000
前期繰越正味財産額	12,566,707	-	12,566,707
次期繰越正味財産額	13,246,707		13,246,707

5号議案

倶楽部役員選任案（2019年度～2021年度）

(理事候補) 和田 雅実 (再任)

 三上 尚人 (再任)

 宮台 善朗 (再任)

 高橋 陽之助 (再任)

 杉嶋 貴司 (再任)

 高橋 陽太 (再任)

 小林 良誌 (再任)

 永渕 博隆 (再任)

 久富 圭介 (再任)

 山口 高史 (再任)

 伊藤 健司 (新任)

(監事候補) 依田 秀雄 (再任)

 佐藤 雄介 (新任)

*倶楽部事務局長は杉嶋貴司理事にお願いする。